

7

大気中のCO₂は増えているのか？

—最先端の観測からわかる地球上の炭素循環—

地球温暖化の原因は大気中のCO₂など温室効果ガス濃度の増加とされていますが、実際の濃度変化はいったいどうなっているのでしょうか。この講座では最先端の観測現場の実態を紹介しながら、地球温暖化の基礎から地球上の炭素循環までを学びます。

会場	対面： サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5階） 501・502大講義室 オンライン： -
時間	①13:00～14:00 ②14:10～15:10 ③15:20～16:20 ④16:30～17:30
定員	対面： 50名 オンライン： -名
対象	高校生を対象とするが一般も聴講可
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 5/7（木） ※ 定員に達しなければ 7/15（水）（必着）まで先着順で受付

地球温暖化のしくみ

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 特任教授 町田 敏暢

第1回

7/25（土）

13:00～14:00

地球が太陽からのエネルギーを受け取って放出するしくみと温室効果ガスの放射特性を通して地球温暖化のメカニズムを理解し、大気成分の変化が環境に及ぼす影響について学びます。

温室効果ガスの時間変動

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 特任教授 町田 敏暢

第2回

7/25（土）

14:10～15:10

大気中の温室効果ガスの季節変化、経年変化、さらには過去数十万年にわたる長期変化の歴史を紐解くことによって、濃度変化を引き起こしている個々のメカニズムを理解します。

温室効果ガスの空間分布

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 特任教授 町田 敏暢

第3回

7/25 (土)

15:20~16:20

温室効果ガスの大気中での分布を知ることによって、それぞれのガスの放出源や吸収源を理解します。

地球上の炭素循環

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 特任教授 町田 敏暢

第4回

7/25 (土)

16:30~17:30

最先端の観測結果を交えて大気鉛直輸送や水平輸送を理解し、地球上での温室効果ガスの循環をイメージできるようになることがゴールです。

講座内容に関する
お問い合わせ先

瀬戸内CN国際共同研究センター 特任教授 町田 敏暢

電話： 082-424-4540

メール： tmachida@hiroshima-u.ac.jp